

## はじめに

この冊子は、タイにおける HIV/AIDS 予防教育プロジェクトのための、ピア教育基礎テキストを日本語訳したものです。

私たち<ピープルズ・ホープ・ジャパン> (PHJ) は、米国の NGO プロジェクト・ホープから、タイにおける本プロジェクト実施権の移管を受け、必要なテキストを整備し 2000 年からピア教育を開始しました。そしてタイ・チェンマイの 6 大学及び 18 の高専における予防教育で活用しながら、都度改訂を重ねてきました。また、隣国ベトナムでも同様のカリキュラムで実施しています。

実際の使用に際しては、その時点での統計データ（タイ・チェンマイ県）、現状把握によるケーススタディあるいは HIV 感染者からの経験談などを交え、内容を順次変更・アップデートしています。

目次をご覧いただければお判りのとおり、この教育内容には、HIV/AIDS に関する「知識・技術」のみならず、ピア・エデュケーター向けに「リーダーシップ」トレーニング部分も含んでいます。

タイでは、この教育を受けた数多くのピア・エデュケーターが巣立っていき、実社会において過去に養ったリーダーシップを発揮し、いまや各々の分野で重要な仕事をこなしている例も多々あります。

タイにおいてピア・エデュケーターによるピア教育を行う時には、PHJ タイのスタッフの助言のもと、あるいは自分たち自身で、トピックを決め、時間内に終わるように企画しました。

PHJ タイのスタッフが実施する場合には、トレーニング時間によりカリキュラムをアレンジします。たとえば 1、2 時間であれば、「水の交換」ゲームを通じて危険な性行為による HIV 感染の広がり、コンドーム使用による HIV 感染へのリスクと安全性への認識を高めてもらいます。また、「愛のイメージ」では、軽率な不安全行為をしない自覚を持つことの大事さを理解してもらいます。

このカリキュラムは、トレーナー、プログラム・マネージャーあるいはチーム・メンバーにより、今後も必要に応じて改訂され、維持されていくことになるでしょう。

各団体に教育を試みる場合には、本冊子をご参考にその団体ごとに独自のカリキュラムを設定し、教育効果が最大限得られる内容にさせていただくことを期待したいと思います。

2017 年 3 月

(認定) 特定非営利活動法人ピープルズ・ホープ・ジャパン

## 目次

総合目標	4
<b>パートⅠ：性の健康</b>	<b>5</b>
● 性の健康とは	5
○ 実習 1：愛のイメージ	8
○ 実習 2：ボディー・マッピング・ゲーム	9
○ 実習 3：性のイメージを粘土で表現	10
<b>パートⅡ：HIV/AIDS 及び性感染症</b>	<b>11</b>
● HIV/AIDS とその他感染症について学ぶ	11
○ 実習 1：水の交換	12
○ 実習 2：HIV/AIDS 感染の危険行為と非危険行為の認識	14
○ 実習 3：性感染症	16
● HIV/AIDS 感染予防ーコンドーム	17
○ 実習 4：コンドームの使い方	18
○ 実習 5：コンドームを使うための話し合い	19
● 外見で判断しないこと	21
<b>パートⅢ：青少年向け基本的カウンセリング・スキル・トレーニング</b>	<b>23</b>
● カウンセリングの対人関係コミュニケーションスキルの総合的規範	24
● カウンセリングのコミュニケーション・マイクロスキル	25
● カウンセリングで考慮すべきこと	26
● カウンセリングの難しい瞬間	27
● カウンセラーの資質とトレーニング	29
● ロールプレイ	30
○ 実習 1：カウンセリング	31
● まとめを行う	34
○ 実習 2：アムの例	36
○ 実習 3：アンの例	37
○ 実習 4：オンの例	38
● カウンセリングの終了	38

<b>パートⅣ：リーダーシップとチーム構築</b>	<b>40</b>
● リーダーシップと役割モデル	43
○ 実習 1：ボール投げ	46
○ 実習 2：リーダーと従う者	47
○ 実習 3：寮生のための HIV/AIDS 予防教育計画	48
<b>パートⅤ：情報／教育／コミュニケーション</b>	<b>49</b>
● コミュニケーションとメディア（媒体）	50
● HIV/AIDS に関するコミュニケーション	51
● HIV/AIDS 感染予防促進のコミュニケーション手段	53
○ 実習 1：コミュニケーション・プレイ	53
○ 実習 2：メディア（媒体）の種類	54
○ 実習 3：コミュニケーション手段の制作	54
○ 実習 4：Tシャツ・ペインティング	55
<b>関連資料</b>	
PHJ タイ事務所が実施したカリキュラム例	56

## 総合目標

HIVに対する意識や感染防止のスキルを高めることにより、青少年の HIV 感染を減らすこと。

### 【具体的目標】

- ・ HIV に対する正しい意識と知識を持ち、HIV 感染を防ぐ行動をしようとする青少年の数を増やす。
- ・ ピア・エデュケーター、大学及び専門学校の教員/スタッフが、同世代の学生の活動に対する指導方法を学ぶ。

### 【全般的目標】

- ・ 活動を通して HIV/AIDS への意識と正しい知識を高める。
- ・ HIV/AIDS 感染予防の為に使用するコンドームや安全な性行為に対する正しい知識を高める。
- ・ ライフスキルを開発する：意思決定スキル、コミュニケーションスキル、交渉スキルなど。
- ・ HIV/AIDS の知識を伝える有効なピア・エデュケーターになるためのリーダーシップスキルを開発する。
- ・ パートナー大学、専門学校、中等学校間のネットワークを広げる。